

## 足元からのコクリエーション ご感想

- 今一度、地球と繋がっている事、生かされている事に気づく事が大事な時間、瞬間だと思います。改めて、人間力の再生（人間→自然界では無く、自然界の中の人間が共存している）を、今生まれつつある様に感じました。
- 二回目のグループの題材で、いま生まれつつあるものとありましたが、今日みなさまとの時間で、最近のわたしの中の感覚がカタチになり、それを踏まえて、また、新しいナニカが育まれた感じがしています。その新しいナニカをこれから味わっていけるのが楽しみです。
- 小さな画面からでも皆さんのお人柄がひしひしと伝わってきて、とても心地よく、心の底からヨロコビを感じずにはいられませんでした。
- 私達は、常にあらゆる命の存在からサポートを受けている。  
そして自分自身の体も、無数の命の集合体。  
という言葉が本当に味わい深く、自分の中にドスンと落ちて来ました。
- 昨日はカラダもココロもユタカな時間でありました。  
タネがまかれ、これから芽がでて色々ありながらもたくましく育ち、花が咲き、立派な実がなっていく感じがします。
- トーマスさん、カオリさんご夫妻のお話は、瀬戸内海の島での何もないところからの開墾、開拓での暮らしを続けてこられたお話はとても興味深く、ぜひ一度訪ねてみたいと思いました。
- 衣食住をていねいに手づくりされながらそれが地域での仕事にもつながり、動物たちとも存在性を活かし合いながら共に暮らしておられる様子は、経済活動の常識が根底からぬりかわっていく可能性に充ちた暮らしと活動だと感じました。
- 勉強になった。楽しかった。地域の高齢化問題や地球温暖化のことも思い出し、空気がきれいで野生動物やみみずもいる今の暮らしはさみしくない。
- トーマスさんかおりさんご夫妻のお話は、今からわたしが始めようとしている地域の活性化に加速化される追い風となりました。
- 自然や生命の営みを誠実に好きなこととして一生懸命やり続けることで、地元がいのち蘇る地域になると確信しました。これから、どんな展開になるかとても楽しみです。
- 今回の企画の、広島府の自然農の方のお話は、とても心に響きました。もっともっとお話を聞いてみたいと思いました。GUの方々と、とても大切なつながりをいただいた時間でした。  
準備して下さった皆様に心から感謝申し上げます。

- 本来、体の中にある力や自然の時間感覚を取り戻す、思い出すことの大切さを、あらためて感じています。種自身が持つ力を信じて、種本来が生まれる時期を知っているということから学べることは、私たちヒトも同じように、なにか芽生える時期は、こぼれるそのタイミングを知っているのだなと感じました。
- 動植物、昆虫、微生物たちとのコオペレーションを常に視野において、生命の環の営みに素直に耳を傾け、足元の持続可能な繋がりや協働を大切に活かし、日々実践されているお二人に感銘を受けました。
- ところに響くたくさんのコトバが滋養となりました。
- 内なる大地（生態系）に数えきれないエッセンス（栄養を）をいただきました。そのユタカなトキにころからカンシャいたします。参加された方々の存在性より、根底からの変化・変容を観じました。今まさに、本来のプラネタリイな状態へと人間も含めて向かい始めていることの確認にもなりました。
- 終了後に、コアの方々、発表していただいた方々はもとより、参加者全員が、みんなで「地球を巡る地下水路」のような働きをしているように観じました。共有させていただいた喜びが自らの足元からのコクリエーションへと広がっていきますように心がけたいと思います。
- 染色の地産地消（草木ではなく）を知ることができ、いつか近くに行く時はお会いしたいなあと思いました。いろんな活動をしている方と知り合えるのは、とても良いご縁と感じます。GUのご縁に感謝です。
- トーマスさんとカオリさんの里山での暮らしのお話と生きた言葉は、自然界の時間の感覚、自然の感覚にゆだねることを直接肌や細胞に伝えていただいたように感じました。
- 人間中心の経済圏で、自然を軸に生業まで根ざしていく大変さはありますが、たくさんの人々が関わって、豊かなライフスタイルを紡いでいく様子は大きな励みとなりました。

